

公益社団法人日本サーフィン連盟
2025年度 事業計画

<総務本部>

【総務委員会】

1. 正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行います。
2. 正会員及びオープン会員の更新案内を個人へ発送します。
3. 2025年度正会員登録状況を、支部長や各チーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行います。
4. 11月に次年度正会員登録手続きについてチーム代表者に案内します。
5. 会員に対する保険等の対応を行います。
6. 議案等を作成し、各会議へ提案します。
7. 事務局の就業規則を適正に管理し、事務局業務の円滑化及び効率化を図ります。
8. 個人情報の適正な管理を行います。
9. 独立行政法人日本スポーツ振興助成センターにスポーツ振興くじ、スポーツ振興基金、開催地の関係機関等に助成申請を行います。
10. 大会の開催に関し、多くの人に知ってもらう為にスポーツ庁及び海上保安庁等に後援申請を行います。
11. 他業種との連携を図り、連盟の活性化を検討します。
12. 社会貢献活動として、NSA サーファーズビーチクリーン ACT 2025（全国一斉ビーチクリーン）を実施し、事前にゴミ袋等を配布します。
日時 2025年9月7日（日）または14日（日）
場所 全国の海岸 60ヶ所以上
13. UMI 協議会及びボートショー（2025）等に参加し、サーフィンの楽しさを一般の方々に情報発信します。
14. 各種助成団体の調査及び加盟を図ります。
15. 公認会計士による監査の強化を実施します。
16. スポーツ団体ガバナンスコードに準じた組織運営作りを目指します。
17. 公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本スポーツ協会にスポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉を自己説明しホームページにて公表します。

【普及開発委員会】

1. 各地域における情報伝達、意見交換の場として、統括組織代表者意見交換会等を実施します。
2. 全日本サーフィン選手権大会の開催時に地区統括組織代表者会議を開催します。
3. サーフィン愛好者拡大を目指し、都道府県スポーツ協会への加盟にあたっての助言、指導、助成を行います。
4. 全国の地区統括組織のブロック化を推進します。
5. 全国規模の職業別等サーフィン大会への支援を行います。

【コンプライアンス委員会】

1. 倫理規程及び倫理に関するガイドラインを見直します。

2. 会員及び役員・委員に対し、コンプライアンス遵守を徹底します。
3. サーフィン界のコンプライアンスの啓発活動を実施します。
4. YEARBOOK にコンプライアンスについて掲載し、周知を図ります。

<強化本部>

【国際委員会】(ISA コーチング・ジャッジ資格管理)

1. 派遣大会地域の国及び現地情報を把握し、フィードバックを行います。
2. 本連盟が関連する国際大会・事業等の企画運営をします。
3. ISA との連携を深め、情報交換を実施します。
4. 国際大会の事前交渉等の円滑化を図ります。
5. オリンピックでのサーフィン競技の継続的な実施へ向けて働きかけを行います。
6. 国際機関と連携しサーフィンの普及発展に努めます。
7. アジア地域のリーダー国としてサーフィンの地域発展を進めます。
8. 公益財団法人日本オリンピック委員会等の事業連携や会議出席を行います。
9. アンチドーピング医科学委員会と連携し、WADA 及び JADA の定めるアンチドーピングを進めます。
10. スポーツ関係機関との連携を図ります。
11. 国際スポーツ界で活躍する人材を育成します。
12. 国際レベルのジャッジ育成のため、ISA ジャッジ講習会を実施します。
13. ISA コーチング及び ISA ジャッジ資格を管理します。

【強化委員会】(波乗りジャパン、SUP、パラサーフィン等)

1. 強化合宿を行い世界レベルの選手の育成・強化を進めます。
2. 世界レベルのコーチの育成をします。
3. 強化指定選手制度を設け、ISA 大会にて優秀な成績を収めた強化指定選手(プロアマ問わず)に報奨金を支払います。
4. 強化指定選手に国際大会の選手参加費のサポート、主催大会の参加費免除、強化合宿費のサポートなどを実施します。
5. 国際大会の派遣選手及び派遣役員を選考・選出します。
6. JOC との連携により、国際大会で勝利できる選手育成を実施します。
7. 強化戦略プランを作成し、プランに基づいたジュニア選手を育成します。
8. 強化指定選手を対象とした強化合宿を実施するとともに、管理をします。
 - ・3月新強化指定選手強化合宿(3月18日、オンライン開催) → 開催済
 - ・ジュニア・シニア強化合宿(ナショナルトレーニングセンター・サーフィン競技強化拠点)
 - ・アメリカジュニア合宿(未定)
9. 世界選手権大会の選考試合(JAPAN OPEN OF SURFING)の開催を検討します。
10. 以下の国際大会等へ選手を派遣します。
 - ・2025 ISA WORLD SURFING GAMES 開催時期未定 → 9月5日～14日(エルサルバドル)
 - ・2025 ISA WORLD LONGBOARD SURFING CHAMPIONSHIP 開催時期未定 → 4月25日～5月1日(エルサルバドル)

- ・ 2025 ISA WORLD JUNIOR SURFING CHAMPIONSHIP 開催時期未定
 - ・ 2025 ASIAN SURFING CHAMPIONSHIP 開催時期未定
 - ・ ISA WORLD SUP AND PADDLEBOARD CHAMPIONSHIP 開催時期未定
 - ・ ISA WORLD PARA SURFING CHAMPIONSHIP 開催時期未定
11. 国際大会等で得た最新の情報をフィードバックします。

【アスリート委員会】

1. アスリートからの意見を集約し、事業や強化活動へ反映させます。
2. アスリートの環境整備を提案します。
3. JOC アスリート委員会の活動に参加します。

【アンチドーピング医科学委員会】

1. アンチドーピング活動を徹底するとともに周知活動を実施します。
2. ドーピング検査を導入します。
3. サーフィンに関する医学的な調査研究を実施します。
4. 強化選手等を対象に専門的知識の理解を深める活動を実施します。

<事業本部>

【事業委員会】

1. オフィシャルパートナー・各主催大会・プールスクール事業の協賛募集活動を行います。
2. 主催大会・派遣大会の結果をオフィシャルパートナーに報告します。
3. NSA ネットショップ（ALOHA STORE）にて、NSA 関連商品を販売します。
4. 主催大会会場にて、NSA 関連商品を販売します。
5. 主催大会参加賞 TEE シャツや役員用帽子を作成します。
6. 収益事業の提案を行います。
7. 会員特典の拡充を行います。
8. 会員数増加の為の周知活動を行います。
9. ボディーボードサーキットを展開します。

【企画委員会】

1. 事業委員会、広報委員会と連携しサーフィンに対する周知を図ります。
2. 主催サーフィンスクール及びプールスクールを、行政及び学校と連携し、開催します。
3. 新規事業の提案を行います。

【広報委員会】

1. 「YEARBOOK」を2025年5月中に全会員と公認ジャッジ、公認指導員、協力店、統括組織代表者へ郵送します。
2. 全日本選手権・全日本級別選手権・マスターズオープン等の大会プログラムと大会ポスター（地域等限定）を作成し配布します。
3. NSA オフィシャルサイトと連動を図り、最新情報を広く配信します。

4. NSA オフィシャル SNS（主にInstagram）においてファン獲得に向けた配信活動を行います。
5. NSA オフィシャルサイトに主催大会結果、写真等をアップします。
6. 協力店等に「ルール&マナーブック」を無料配布します。
7. 「ルール&マナーブック」を主催大会、公認大会にて無料配布します。
8. 春のインタースタイルにブースを出展します。→ 2月12日（水）～13日（木）出展済
9. 各主催大会のライブ配信においてCM協賛の募集活動を行います。
10. イヤーブック等の印刷物の予算獲得に向け、日本スポーツ振興センターへの申請及び報告業務を行います。

<競技本部>

【大会開催委員会】

1. 第33回ジュニアオープンサーフィン選手権大会（2025）を開催します。
開催場所：神奈川県 藤沢市 鵜沼海岸プールガーデン前
開催日：2025年4月24日（木）～27日（日）（予定）
2. 第42回全日本級別サーフィン選手権大会（2025）を開催します。
開催場所：高知県 東洋町 生見サーフィンビーチ
開催日：2025年5月14日（水）～18日（日）（予定）
3. 第21回マスターズオープンサーフィン選手権（2025）を開催します。
開催場所：静岡県 下田市 白浜海岸
開催日：2025年9月5日（金）～7日（日）（予定）
4. 第59回全日本サーフィン選手権大会（2025）を開催します。
開催場所：静岡県 牧之原市 静波海岸
開催日：2025年10月12日（日）～18日（土）予備日 10月19日（日）（予定）
クオリファイ 10月11日（土）（予定）
→ 2025年10月11日（土）～18日（土）予備日 10月19日（日）（予定）
クオリファイ 10月10日（金）（予定）に訂正
5. 主催大会の構成や効率化を検討します。
6. ポイントランキング制度を改定します。
7. 公認大会の運営管理及び開催要項の改定を行います。
8. 公認大会のエントリー及びその他詳細についてNSA オフィシャルサイトに掲載します。
9. 公認大会支援事業として、エリアフラッグ、タイムフラッグ、ゼッケン等を貸与します。
10. 第42回全日本級別サーフィン選手権大会、第21回マスターズオープンサーフィン選手権、第59回全日本サーフィン選手権大会にてライブ中継を検討します。
11. 2026愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会と連携して開催準備を行います。

【ジャッジ委員会】

1. 公認大会にジャッジ派遣の要請があった場合に派遣を行います。
2. 主催大会の専任ジャッジを選出します。
3. 国際大会ルールに準じて改定した競技ルールを施行します。

4. 主催大会において、プライオリティルールを施行します。
5. 主催大会においてジャッジシステム（リフレッシュ等）を使用します。
6. 公認ジャッジ講習会に教育委員会より講師の依頼があった場合に派遣を行います。
7. サーフィン検定にマスタージャッジの派遣の要請があった場合、派遣を行ない全国での見解を統一します。
8. NSA OFFICIAL JUDGE GUIDE BOOK の作成を検討します。
9. 教育委員会と連携し、主催大会においてジャッジトレーニングを開催します。
10. ジャッジスキル向上のため、ISA および JPSA に選出したジャッジを派遣予定です。
11. ジャッジ委員会主催のサーフィン検定を開催予定です。

<教育本部>

【教育委員会】（ジャッジテスト、ジャッジ講習会、サーフィン検定、スクール審査員）

1. サーフィン検定の開催スケジュールについて管理・調整を行い、一般の方々を含めた受験者を募集いたします。
 - ①検定基準の統一を目的に必要なに応じてマスタージャッジの派遣手配を行います。
 - ②検定を通して開催地域のA級ジャッジからマスタージャッジを採用し、地域のジャッジ活動を促進します。
 2. 秋季公認ジャッジ講習会を開催します。 → 12月東京他にて開催予定
 3. 秋季公認ジャッジ資格試験を開催します。 → 12月東京他にて開催予定
 4. 統括組織主催の公認ジャッジ講習会へ講師の派遣を行います。
 5. 春季公認ジャッジ講習会（試験なし）を開催します。 → 3月9日（東京・大阪）開催済
 6. 2025年度版ジャッジテキストの改定を行います。
 7. スクール審査員講習会（試験なし）を開催します。 → 3月9日（東京・大阪）開催済
- ※ 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. の事業はジャッジ委員会と連携して行います。
8. サーフィンの教育普及活動に関する取り組みを行います。

【安全対策委員会】（公認指導員、海上安全指導員講習）

1. サーフィンに関する安全普及活動を実施します。
2. 主催大会、公認大会等の安全管理を徹底します。
3. サーフィン環境の保全、改善による安全対策を計画し実施します。
4. 海上保安庁、（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会・（一社）ウォーターリスクマネジメント協会の事業と連携して公認指導員講習会を実施し、全国に指導員を配置します。
5. 公認指導委員資格講習会及び実技・試験を実施します。

日程：2025年3月1日（土） → 実施済

会場：（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会大会議室（横浜）
6. 主催大会会場での救急救命訓練・講習会の実施を検討します。
7. （一社）ウォーターリスクマネジメントに協力を要請し、主催大会での会場パトロール業務を行います。